

中川駅周辺福祉のまちづくり重点推進地区事業

中川駅周辺福祉のまちづくり行動計画

一緒にやってみよう!

人と人との

であい・ささえあい・わかちあい

つづき

都筑区地域福祉保健計画マスコットキャラクター
つづき あい

平成 20 年 3 月

中川駅周辺福祉のまちづくり重点推進地区協議会

中川駅周辺福祉のまちづくり重点推進地区事業の事業目標

中川地区における 人と人との「であい・ささえあい・わかちあい」の推進

中川地区では、「都筑区地域福祉保健計画」に基づき、中川地区行動目標として

- 目標1 様々な活動や行事をきっかけに顔の見える関係を広げよう！
- 目標2 地域の情報やルールをわかりやすくPRしよう！
- 目標3 若い世代に地域活動への参加を呼びかけ、担い手を育てよう！

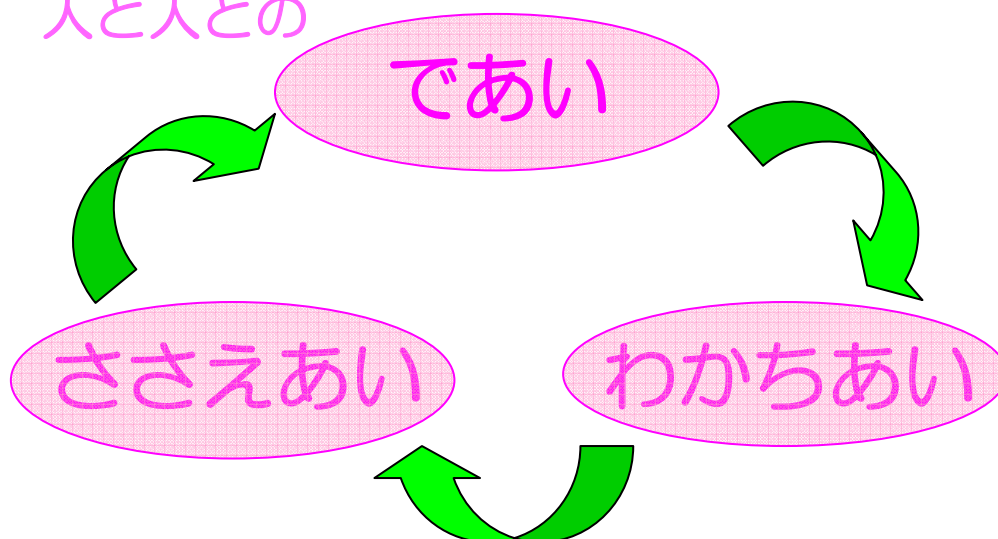
を掲げています。

平成19年5月に設置した中川駅周辺の福祉のまちづくり重点推進地区協議会は、9月に「中川駅周辺の福祉のまちづくり指針」を策定し、横浜市福祉のまちづくり推進会議に意見具申し、条例に基づき、10月25日「中川駅周辺福祉のまちづくり重点推進地区」（平成19年10月～22年3月31日）の指定を受けました。

指定を契機に、都筑区地域福祉保健計画の理念である「人と人との『**であい ささえあい わかちあい**』」を実感できるまちづくりの取り組みを、一層、推進します。「人と人との『**であい ささえあい わかちあい**』」の3つの「あい」が相互につながり、相乗効果を生みだしていくよう、地域や団体・学校・事業者・行政とが協働で推進し「心のバリアフリー」＝「福祉のまちづくり」の風土づくりに取り組みます。

心のバリアフリーがいきづくまち

人と人との



人と人との「であい」の機会を増やします。

地域で実施している祭りや公園愛護会活動などの行事や活動への参加や、日常生活で挨拶やことばをかけあうなどコミュニケーションを豊かにします。

人と人とのつながりや、活動と団体間がつながるなど地域のネットワークを広げていきます。

地域でよりよく生活するために、人と人とのつながりを大事にする気持ちや意識を醸成していくことが大事であることを伝えていきます。

人と人との「ささえあい」の輪を広げます。

地域の行事や活動、ボランティア活動など様々な活動をとおして、個人や団体、地域がお互いに支えあう、今日的な「お互い様」、「持ちつ持たれつ」「ちょっとした心遣い」など相互の関係づくりを構築していきます。

また、誰もが、困った時、助けてほしい時に、個人が問題を抱え込まず、気軽に「手を貸してほしい」といえる地域の雰囲気・環境づくりを進めていきます。

それぞれの立場や価値観を理解する「わかちあい」の機会を増やします。

高齢者や障がい者、小さな子どもづれの人、地域の人たちが活動や行動を共にして、お互いの立場や価値観などを理解する機会やお互いに寄り添っていく機会を増やしていきます。

一人ひとりのちょっとした心遣いや優しさを感じることができる地域を目指していきます。

また、個人や団体が知識や技術を存分に活かせる地域は、活動者や団体がいきいきと豊かな生活を送ることができます。誰もが「担い手」であり、「受け手」であることを認識し、わかちあいの仕組みづくりを進めていきます。

中川駅周辺福祉のまちづくり重点推進地区事業 行動計画

「心のバリアフリーがいきづくまち」へ16のプログラム

今回、事業目標を実現するために、協議会では、4つの分科会を設け、「誰が・何を・どのように取り組んでいくのか」について、検討し16の項目からなる行動計画を策定しました。



「地域ケアプラザ等の複合施設の機能を活かしたまちづくり」分科会

計画☆その1

地域ケアプラザは、町内会・自治会、老人クラブ、障がい者団体、中川駅前商業振興会などの地域のみなさんと「まち歩き」を実施し、地域のニーズを把握するとともに、参加者の視点を生かした、地域福祉保健活動に関する地域資源マップを作成します。

実現すると

身近な福祉・保健に関する情報が、地域のみなさんに届きます。

計画☆その2

介護老人保健施設は、地域の中学生等が介護老人保健施設での福祉体験や部活動の発表等を通して、要介護高齢者との交流を図ることにより、中学生等の高齢者への理解を深めます。

実現すると

中学生等が高齢者への理解を深めることができます。

計画☆その3

介護老人保健施設は、地域のみなさんを対象に、介護方法等に関する情報提供を行います。また介護をするうえでの悩みなどについて話し合う機会を設けます。

実現すると

在宅の介護者の介護技術が高まり、精神的負担が軽減されます。

計画☆その4

地域ケアプラザ、老人介護保健施設、保育園は、それぞれの施設利用者と協力し、地域の方に向けたバザーを行います。

実現すると

地域のみなさんに複合施設が周知されます。

計画☆その5

保育園は、地域の高齢者を遊戯会、運動会に招待します。

実現すると

世代間交流を促すことができます。

計画☆その6

保育園は、地域の中学生等が園児と一緒に遊ぶことを通じ、中学生等が命の大切さ等について考える機会をつくります。

実現すると

世代間交流を促し、中学生等が命の大切さを体感することができます。

計画☆その7

中川駅周辺福祉のまちづくり重点推進地区協議会は「心のバリアフリーがいきづくまち」＝「福祉のまちづくり」を地域のみなさんで推進するため、研修会や普及啓発を行います。

実現すると

だれもが安心して暮らせるまちづくりができます。



「商店街の活性化（空き店舗の活用）と障がい者の社会参加の促進」分科会

計画☆その8

つづき地域活動ホームくさびえと区内の地域作業所等は連携し、空き店舗を利用した地域作業所（地域活動支援センター）をつくります。また、地域のボランティアを募集し、地下鉄中川駅構内等で障害者地域作業所等が作製する自主製品の販売をします。

実現すると

障がい者への理解が深まります。
障がい者と地域のみなさんとの交流の機会が増えます。
自主製品の販売機会が増えます。

計画☆その9

つづき地域活動ホームくさびえと区内の地域作業所等は連携し、「中川ふれあいフェスタ」等で障がい者と地域の人が、一緒に楽しめる参加型イベントの開催と自主製品の販売をします。

実現すると

障がい者への理解が深まります。
障がい者と地域のみなさんとの交流の機会が増えます。
自主製品の販売機会が増えます。

計画☆その10

つづき地域活動ホームくさぶえは区内障害者施設（ワーク中川）と連携し、ワーク中川にある機材を活用して、障がい児の親子と地域の親子と一緒に参加できる、親子パンづくり教室・親子陶芸教室等を開催します。

実現すると

障がい者への理解が深まります。
障がい者と地域の人との交流の機会が増えます。



「公園を活用したふれあい&健康づくり」分科会

計画☆その11

中川西町内会、山崎公園愛護会、都筑区さわやかスポーツ普及委員会、牛久保西ふれあいクラブ、中川西小学校は連携し、山崎公園の環境を活かして愛護会が実施している行事や、学校行事等を活用し、障がい者と小学生・中学生をはじめとした地域のみなさん、また住民間のふれあいと交流を促す、軽スポーツなどを盛り込んだイベント等を実施します。

※イベント予定

4月	タケノコ掘り	10月	運動会（中川西町内会）
5月	つり大会	2月	焼きいも大会
7月	ワイワイまつり	2月	スマイル作品展
8月	つり大会	年4～5回	親子体力づくり

実現すると

住民間の交流が深まります。
障がい者への理解が深まります。
障がい者と地域のみなさんとの交流の機会が増えます。



「中川のまちのにぎわいづくり」分科会

計画☆その12

中川駅前商業地区振興会、NPO法人I Love つづきが連携し、武蔵工業大学の横浜祭に時期を合わせ、地域のみなさんが楽しめる神輿、模擬店、福祉のまちづくり事業のPR等をおこなう「中川ふれあいフェスタ」を実施します。

実現すると

住民間、地域と大学の交流・連携が深まります。
町内会・自治会活動をはじめとした地域活動への理解が深まります。

計画☆その 13

中川駅前商業地区振興会、武蔵工業大学が連携し、インターネット上に Web ページ「中川のふくまち（仮称）」設け、地域活動やボランティア活動等の地域の情報発信を行います。

実現すると

住民間、地域と大学の交流・連携が深まります。
町内会・自治会活動をはじめとした地域活動への理解が深まります。

計画☆その 14

地域ケアプラザと地下鉄中川駅舎内コーヒーショップに地域のみなさん等に向けた区民活動グループの活動紹介やイベント情報等の情報発信コーナーを設置します。

実現すると

住民間の交流・連携が深まります。
来街者や転入者向けの地域に密着した情報提供ができます。

計画☆その 15

中川駅周辺福祉のまちづくり重点推進地区協議会が武蔵工業大学と連携して、「であい ささえあい わかちあい」につながる「ふれあいとにぎわい」づくりを進めるためのまちづくりアイデアコンペを実施します。

実現すると

地域の課題の解決に向けた意識が深まります。
住民間、地域と大学の交流・連携が深まります。

計画☆その 16

中川駅周辺福祉のまちづくり重点推進地区協議会が地域のみなさん、区内在勤・在学の方を対象に、地域ケアプラザ等複合施設の愛称を募集します。

実現すると

複合施設が、地域のみなさんに親しまれ、中川地区の福祉のまちづくりの拠点となります。

中川駅周辺福祉のまちづくり重点推進地区事業 行動計画

参考資料

分科会名	地域ケアプラザ等複合施設の機能を活かしたまちづくり (第1分科会)					商店街の活性化(空き店舗の活用)と障がい者の社会参加の促進 (第2分科会)	公園を活用したふれあい&健康づくり (第3分科会)	中川のまちのにぎわいづくり (第4分科会)				
	計画番号	計画☆その1	計画☆その2~3	計画☆その4	計画☆その5~6	計画☆その7	計画☆その8~10	計画☆その11	計画☆その12	計画☆その13	計画☆その14	計画☆その15
誰が (分科会メンバー)	地域ケアプラザ	介護老人保健施設	介護老人保健施設 地域ケアプラザ 保育園	保育園	中川駅周辺福祉のまちづくり 重点推進地区協議会	つづき地域活動ホームくさぶえ	中川西町内会 山崎公園愛護会 都筑区さわやかスポーツ普及委員会 牛久保西ふれあいクラブ 中川西小学校	中川駅前商業地区振興会 NPO法人 I Love つづき	中川駅前商業地区振興会 武蔵工業大学	複合施設	中川駅周辺福祉のまちづくり 重点推進地区協議会 武蔵工業大学	中川駅周辺福祉のまちづくり 重点推進地区協議会
何を (活動の概要)	地域の福祉保健活動に関する地域資源マップの作成	①・福祉体験 ・部活動の発表 ②・介護方法等に関する情報提供 ・介護者の悩みなどについての話し合い	バザー	①園児の遊戯などを地域の高齢者に見ていただき、世代間交流を図る ②園児と一緒に遊ぶことを通じて、世代間交流を図る	研修会 普及啓発	①障害者地域作業所等で作成する自主製品の販売と地域作業所の開設 ②自主製品の販売と参加型イベントの開催 ③親子パンづくり教室、親子陶芸教室の開催	・山崎公園愛護会で実施している竹の子掘り、焼き芋等を活用したイベントの実施 ・竹の子会の協力により、障がい児や幼稚園児から高齢者まで楽しめる軽スポーツを体験 ・学校行事を活用した地域住民間等の交流促進	「中川ふれあいフェスタ」の実施	Web ページ「中川のふくまち」(仮称)による情報発信	地域情報コーナーの設置	「にぎわいのあるまちづくり」アイデアコンペ	複合施設愛称募集
何のために (目的)	地域の福祉保健に関する情報を地域に提供	①要介護高齢者と地域の中学生等との交流を通じ、高齢者への理解の促進 ②地域住民へ向けた介護技術等の情報提供 ・介護者の精神的負担の軽減	複合施設のPR	①世代間交流を促進 ②世代間交流を通じ、中学生等が命の大切さを体感	「心のバリアフリーがいきづくまち」(福祉のまちづくり)を地域で促進	①~③ ・障がい者への理解を深めるため、障がい者と地域の人との交流の機会の増加と啓発活動の実施 ・障がい者の社会参加の促進	・障がい児や小中学生など住民間のふれあいと交流促進 ・季節ごとの行事に併せて軽スポーツを一緒に体験することにより、住民間の一体感を促進 ・地域の障がい児や子どもたちの参加を通じ、障がいに対する理解を深め、同じ地域に暮らす仲間であることを再確認	・地域の連携や交流の促進(大学と地域が連携したまちづくり) ・町内会・自治会への加入促進 ・複合施設の利用促進	・地域の連携や交流の促進(大学と地域が連携したまちづくり) ・中川への来街者の増加	・地域の連携や交流の促進 ・来街者や転入者向けの地域に密着した情報の提供	・地域と大学の連携促進 ・住民が主体のまちづくりの推進	複合施設が地域福祉保健の拠点として親しまれることによる福祉のまちづくりの推進
誰を (対象者)	地域住民	①地域の中学生等 ②地域住民	地域住民	①高齢者 ②地域の中学生等	地域住民	①~③ 地域住民 障がい者	地域住民 障害児・者福祉団体連絡協議会 都筑の春(高齢者グループホーム) ワーク中川(知的障害者授産施設)	地域住民	地域住民	地域住民	地域住民 武蔵工業大学学生	地域住民 区内在勤者 区内在学者
誰と (協力者)	町内会・自治会 老人クラブ 中川地区民生・児童委員協議会 中川地区保健活動推進委員会 障がい児者団体 中川駅前商業地区振興会	①中川西中学校 他 ②地域ケアプラザ (地域包括支援センター)	施設利用者			①交通局、地域住民 区内の地域作業所 等 ②中川連合町内会 中川駅前商業地区振興会 区内の地域作業所等、中川地区民生・児童委員協議会、障害児・者福祉団体連絡協議会、地域住民 等 ③障害児・者福祉団体連絡協議会、ワーク中川(知的障害者授産施設)、地域住民、中川西小学校 等	竹の子会(地域総合スポーツクラブ) 中川西小学校 中川西中学校 都筑小学校	中川連合町内会 武蔵工業大学 中川西小学校 中川西中学校 金の星幼稚園 ワーク中川(知的障害者授産施設) 複合施設	中川連合町内会 中川西小学校 中川西中学校 金の星幼稚園 ワーク中川(知的障害者授産施設) 複合施設	武蔵工業大学 I Love つづき 中川西小学校 中川西中学校 中川連合町内会 駅舎内コーヒーストック 複合施設	中川駅前商業地区振興会 I Love つづき 中川西小学校 中川西中学校 中川連合町内会	
いつ (時期)	22年3月までに完成	①適宜 ②年2回程度	年1回(10月)	①遊戯会 運動会 ②(要調整)	適宜	①③ 20年秋頃まで (地域作業所開設は22年3月頃) ②21年6月	4月タケノコ掘り 5月つり大会 7月ワイワイまつり 8月つり大会 10月運動会(中川西町内会) 2月焼きいも大会 2月スマイル作品展 親子体力づくり(年4~5回)	21年6月(武蔵工業大学の横浜祭開催時)	随時情報更新	随時情報更新	21年6月 (武蔵工業大学の横浜祭開催時に結果発表)	施設オープン時期に合わせて公募・選定
どこで (場所)	指定区域内を中心とした中川地区	①②介護老人保健施設	複合施設および駅周辺	①②保育園	指定区域内を中心とした中川地区	①地下鉄中川駅構内等 ・地域作業所については要調整 ②「中川ふれあいフェスタ」等 ③ワーク中川(知的障害者授産施設)	山崎公園 中川西小学校	武蔵工業大学まで含めた中川駅周辺	中川駅前商業地区振興会の Web サイト内	地域ケアプラザ 駅舎内コーヒーストック	武蔵工業大学	施設オープン時の広報よこはま等で周知
どのように (方法 等)	地域住民の方々ともち歩きを実施し、地域のニーズを把握するとともに、それぞれの視点をマップ化	①②(要調整)	施設利用者や地域住民等に出品物の提供と当日の人的協力	①参加者希望者を募り、招待 ②学校の福祉教育の一環として実施	(要調整)	①・地域から一般募集したボランティアと地域作業所の利用者が一緒に、作業所で作製した自主製品を販売 ・空き店舗を活用した地域作業所の設置 ②①の販売と同様 ・参加型イベントの開催 ③ワーク中川にある機材を利用した親子パンづくり教室、親子陶芸教室等の開催	・分科会メンバーが各行事の企画に参加 ・運営、周知などは分担して実施 ・参加者募集に関しては、町内会・自治会や老人クラブなどを通じて呼びかけるほか、公園内の掲示板などで自治会などに未加入の住民の参加促進	経済観光局の「商店街活性化イベント助成事業補助金」を活用 ⑥フェスタの内容(案) ・神輿 ・模擬店 ・朝市 ・フリーマーケット ・よろず相談 「福祉のまちづくり」の取組のPR ・町内会・自治会活動、区民活動グループの紹介 等	武蔵工業大学学生グループ等が情報更新する。 ⑥提供する情報(案) ・作業所、複合施設からのお知らせ(ボランティア募集等) ・地域のイベントやハマロードサポーター等の地域活動 ・子どもたちのボランティア等地域活動報告 ・武蔵工業大学からのお知らせ(市民向け講座等) ・子どもレポーターによる「中川のまち探検」 ・地域の区民活動グループの紹介 等	⑥提供する情報(案) ・区民活動グループの活動紹介 ・地域(町内会)や学校のイベント紹介 公園、緑道などの中川の町の案内情報の提供 等	「であい ささえあい わかちあい」につながる「ふれあいとにぎわい」づくりをテーマに実施	・広報よこはま、チラシ等で親しみやすい愛称を公募 ・協議会で選定
協力の調整が必要な分科会等	2					4	2	1 2 3	1 2 3	1		1

